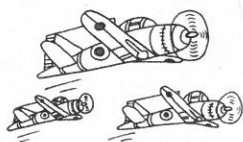


1ねん学年だよ!!

平成30年12月7日(金) 第35号



平和学習会



11月22日(木)と12月5日(水)の2回にわたって、平和学習がおこなわれました。きっと小学校のときにも、「太平洋戦争」や「原子爆弾」など、戦争と平和に関する学習をおこなったことはあると思いますが、今回は「大阪大空襲」のことを中心に学習しました。

大阪大空襲

太平洋戦争の末期にアメリカ軍によって繰り返し行われた、大阪市を中心とする地域に対する大空襲のこと。1945年3月13日深夜から14日未明にかけての大空襲が1回目で、以後、6月に4回、7月に2回、8月に1回と、計8回にわたっておこなわれた。大阪大空襲によって、15000人以上の一般市民が亡くなったとされている。



まず22日(木)は、プリント資料やワークシートを用いて、大阪大空襲そのものについて学習しました。私たちが暮らす西区も大阪大空襲の被害を受けていたのです。堀江中学校が建っている敷地には、小学校(高台国民学校)がありましたが、空襲の爆撃で、その校舎の鉄筋だけが残っている写真を見ました。今は交差点に建っている石碑が当時を物語っています。

そして5日(水)には、実際に大阪大空襲を体験された方の証言を集めた映像を見ました。実体験に基づくお話は、映像とはいえ、プリント資料で学習するのとは違って、私たちの心に迫るものがあります。たとえば、ある男性の方は「焼夷弾の中の油を体に浴びて重い火傷を負った」という話をされていました。60年以上経った今も、火傷の跡はなくならないということでした。また、ある女性の方は「遺体がごろごろと転がっていた。その光景は忘れることができない」と涙ながらに話されていました。それ以外にも、大阪大空襲の悲惨さや被害の大きさがわかりやすくまとめられた映像で、30分間ほどの映像でしたが、貴重な学びを得ることができました。

戦争が終わった1945年、私たち人類は「戦争なんて二度としない」と心に誓いました。あれから73年、戦争を体験した人の高齢化が進み、戦争体験者は確実に減っています。そんな中、人類があれほど憎んだはずの戦争が、何となく身近に迫りつつあるように感じてしまうのは気のせいでしょうか。たとえ戦争まではいかなくても、私たちの身の回りに「理不尽」や「暴力」はないでしょうか。【悪口】と【いじめ・言葉の暴力】と【ケンカ】と【戦争】は、すべて同じ線の上に乗っています。日常生活を注意深く観察し、丁寧に排除していく必要があります。



平和学習会を終えて



※生徒の感想より抜粋



◆何十年も前に火の海になって多くの人が亡くなって傷ついた町に、今自分が住んでいるとわかっていても想像できなかった。戦争で生き残っても幸せになれるわけでもなく、両国の誰かが亡くなって悲しみが生まれるだけの戦争を知っている人がいなくなっている中、自分たちも後の時代にそのことを伝えていけるようになりたいと思う。

◆戦争は、1つの爆弾で「けがをする」、「熱い」、「家が焼ける」だけではなく、「命を落とす」、たとえ生きていたとしても「夢」、「希望」、「笑顔」、「友情」などといった良いものをすべて消してしまう重いものだと思いました。現在、日本は「兵器を持たない」といったことも忘れていきます。戦争をしないだけではなく、人の良い感情すべてを奪わないため自分も努力したいと思いました。

◆笑って自分の経験を話している人もいますが、話していることを聞くと恐ろしいことばかりで驚きます。70年以上たった今でも苦しい、悲しい思いをしたことが頭にはっきり残っているという証言を聞くと、やはりそれほど戦争は心の奥に残るような出来事だとわかりました。戦争はいけない、ダメ、ということはこれからも伝えていくべきだと考えました。こうしてまだ証言者の方がいることも奇跡だと思いました。

◆戦争は、戦争をしようとしている人、戦おうとしている人だけでなく、したくないと思っている人や、何もわからない人まで巻き込まれて、傷を負ったり命を落としたりしていきました。そんな理不尽で自分勝手なことがまかり通る世の中には絶対にしてはいけません。今でも戦争や争いごとの続いている国があるけれど、第二次世界大戦後に気づいたように、早く戦争はしてはいけないものだ気づいてほしいと思います。

◆戦争の時代に子どもだった人が出てきて、つらい思い出の話などを聞くことができ、とてもいい経験になった。そして私は、こんな平和な時代に生まれて生きることができて本当に幸せ者だと思った。この平和な幸せがなくなってしまうように、これからもたくさんの人たちに伝えていかなければならないと思う。人権については、いじめや差別の問題が残っているから、改善していかないといけないと思った。

◆戦争が怖いものとか恐ろしいものだとは前から知っていたけど、戦争によって人々はどんな思いをするのか、どんな傷がつくのかなどがくわしくわかりました。実際に大切な家族を失った人の話はとても悲しくてつらかったです。

◆親を亡くしたり、爆弾が直撃したり、体に影響が出たりなど、いろんな人の話を聞いてみると、とてもつらく感じました。戦時中の衣服、食事、生活など、今と比べてみると、今がどれだけ平和なのかということがわかります。僕は戦争というものを体験していませんが、怖さと恐ろしさはわかります。戦争は絶対にしてはいけませんと思いました。

◆小学校のときにも平和学習で戦争について勉強しましたが、中学校に入って感じ方が変わりました。小学校では「戦争はダメ」といって終わらせていて、なぜダメなのかということが実感できていませんでした。今回の平和学習では、実際に体験した人の話を聞き、「むごさ」や「理不尽さ」などを感じました。

保護者のみなさまへ

先日、すべての学年で平和学習会をおこないました。平和学習で学ぶことは、結局のところ「戦争はだめだ」ということに尽きると思います。しかし、生徒たちがおとなになったとき、そのことをどうやって子どもに伝えていくかが重要です。将来、次の世代に語り継いでいくために、今のうちからたくさんの知識を蓄えて、いろいろなことを考え、豊かな表現力を身につけてほしいと思っています。ご家庭でもぜひ話題にさせていただきたいと思っています。

